

外国語活動・外国語科の実践

小中連携を見据えた文字指導のあり方

定着は目指すが、ドリル的に教え込むようなことはしない。ゆっくりと定着できるように配慮する。

※年2回のアルファベット調査

書く活動は重視せず、文字に興味をもたせるような活動を多く取り入れる。

3 学年

大文字に親しむ

- ・アルファベットさがし
- ・アルファベットを使ったイラスト描き
- ・カード作り
- ・アルファベットを身体で表現
- ・線つなぎ

英語ルームにアルファベットがたくさんある環境
子供たちが目にふれる機会が多くなるようにしている。授業の中では大きく取り上げることはない。

低 学年

教師の願い（児童の様子や時代の趨勢から）

- ・読む力（音読、理解、読書、意欲）の向上
- ・聞く力（最後まで、自分の考えと比べて）の向上
- ・自分の考えをもつ、伝える力（「書くこと」へ）の向上
- ・外国語活動・外国語科の指導法研究の継続

児童の様子（つまりきや落ち込み）

- ・「読むこと」への抵抗（読みたがらない、面倒くさがる）
- ・「書くこと」への抵抗（書きたいことを的確に、条件に沿って）
- ・「伝えること」への抵抗（解き方や考え方を説明する）

中学校に向けて、アルファベットの完全定着を目指す。
また、単語や文をスムーズに書き写せるようになることを目標としている。

※年2回のアルファベット調査

アルファベット大文字・小文字の定着を図る

- ・名前を書く（※ヘボン式 1学期は大文字のみ、2学期以降は小文字も使用）。
- ・Hi, friends! Plusを使ったゲームやクイズ
- ・My Book に文を書き写す。
- ・アルファベットカードを使った活動
- ・毎時間、最後に文字の学習をする。

5 学年

小文字に親しむ

- ・アルファベットさがし
- ・ABC Song
- ・名前を書く（※訓令式）
- ・アルファベットクイズ作り

文字に慣れ親しむ時期

アルファベットの定着時期

6 学年

アルファベットの完全定着時期 単語や文に慣れ親しむ時期

アルファベット大文字・小文字の定着を図るとともに単語や文を書き写すことに慣れ親しむ

- ・Hi, friends! Plusを使ったクイズ（※アルファベット音）
- ・My Book に文を書き写す。
- ・単元で学習した単語や文を書き写す。
- ・3文字単語を作る、書き写す（※アルファベット音）
- ・語順への気付き
- ・毎時間、最後に文字の学習をする。
- ・宅習プリントの活用
- ・これまでの学習した表現を使って、自己紹介文を書き写す。

「できた」「わかった」「楽しい」が聞こえる授業へ

実践をととした授業観・
学力観の収斂と実践の蓄積で
「鹿屋小スタイル」の確立

めざす子供の姿

低学年 友達に自分の考えをきちんと伝えている姿
友達の意見をきちんと聞く（受け止める）姿

中学年 友達にわかりやすく伝えようとする中で考えをより確かにする姿
友達の意見を理解しようとして聞く姿
友達の考えと比べて、にているところやちがうところを話し合う

高学年 友達同士の意見の良さを認め合う姿
助言し合う姿
よりよい考えにしていける姿

総合教育センターとの連携
・指導案作成・教材研究

「対話的」学習の系統性

低学年 まず伝える。そのために1つは自分の考えをもつ。
そして、ペア学習では受け止める、肯定的に。
そのために
①ルール作り ②学級の中での共感作り
③単元を見通した意図的なペア学習

「学び合い」から
めざすべき児童の姿
や活動とは？

各学年部ごとに「学び合い」を共通実践

研究主題

学び合いをととして学びを深める授業の創造

「学び合い」のための共通実践事項

低学年	聞く・受け止める・伝える
中学年	比べながら聞く・わかりやすく伝える
高学年	違いを考えながら聞く ・根拠をもって伝える

「学び合い」「対話的」
学習での児童の姿、
活動とは？

中学年 わかりやすく伝え、わかろうと聞く。
その中で自分や友達の考えを比べて話し合う
そのために
①話形の活用 ②ペア学習での反応やうなずき、疑問を出せる支援
③その時間に応じた話し合う視点

高学年 伝え合い、比べてよりよい考え方や答えを見つける。
そのために
①ルールと話形の活用 ②単元を見通した意図的な対話的学習
③対話的学習で課題を焦点化する視点

各教科での実践